

令和3年度日本道路協会会長奨励賞

自らの創意工夫を加え、その後の業務遂行に多大な成果をあげた若い技術者を表彰し、道路技術の進展に寄与することを目的として、平成26年度より「日本道路協会会長奨励賞」を開設いたしました。

各関係機関を通じて候補者の募集をしたところ、29件の応募があり、令和3年度の受賞者は以下の方々に決定いたしました。

受賞者 林 稔二 氏, 真有 祥太 氏, 井上 健太 氏

勤務先 西日本高速道路株式会社

功 績 2020年から開始された中国自動車道のリニューアル工事の実施に際し、社会的影響の最小化に資する工事計画の立案及び多方面との入念な協議を推進するとともに、規制期間の短縮や構造物の長期耐久性確保のための新技術・新工法について検討し改善を加えて導入するなど、都市部における大規模なリニューアル工事の事業推進に貢献されました。

受賞者 樽岡 達矢 氏, 梅澤 美佐子 氏, 石原 大輔 氏, 向井 梨紗 氏

勤務先 阪神高速道路株式会社

功 績 阪神高速道路の交通管制システムに、最新の技術・知見を取り入れた新交通管制システムの企画・設計等に従事し、稼働の開始へとつながりました。

特に、道路利用者の利便性に寄与することとなるリアルタイム事故リスク情報の提供については、交通管理者等との調整を綿密かつ丁寧に実施することにより、新システムへの実装の実現に貢献されました。

受賞者 今川 雅之 氏

勤務先 京都市

功 績 御薊橋架け替え工事の実施に際し、複雑な六枝交差点にラウンドアバウトに類似した形状を採用する等の創意工夫を加え、課題であった慢性的な渋滞の解消や歩行者の安全を確保するとともに、併せて実施した電線共同溝工事において、占用企業者等各方面との調整を的確に行い、同時期に各種工事を完了させ、不経済な掘り返しの防止や出来栄への向上を図り、地元負担の軽減等に貢献されました。